

平成32年国勢調査第1次試験調査の概要

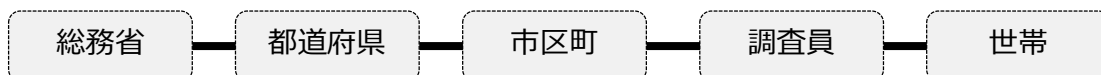
I 調査の目的

平成32年国勢調査実施計画の立案に当たり、調査環境の変化に対し的確に対応するための調査方法等必要な事項を実地に検証し、実施計画の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

II 調査の概要

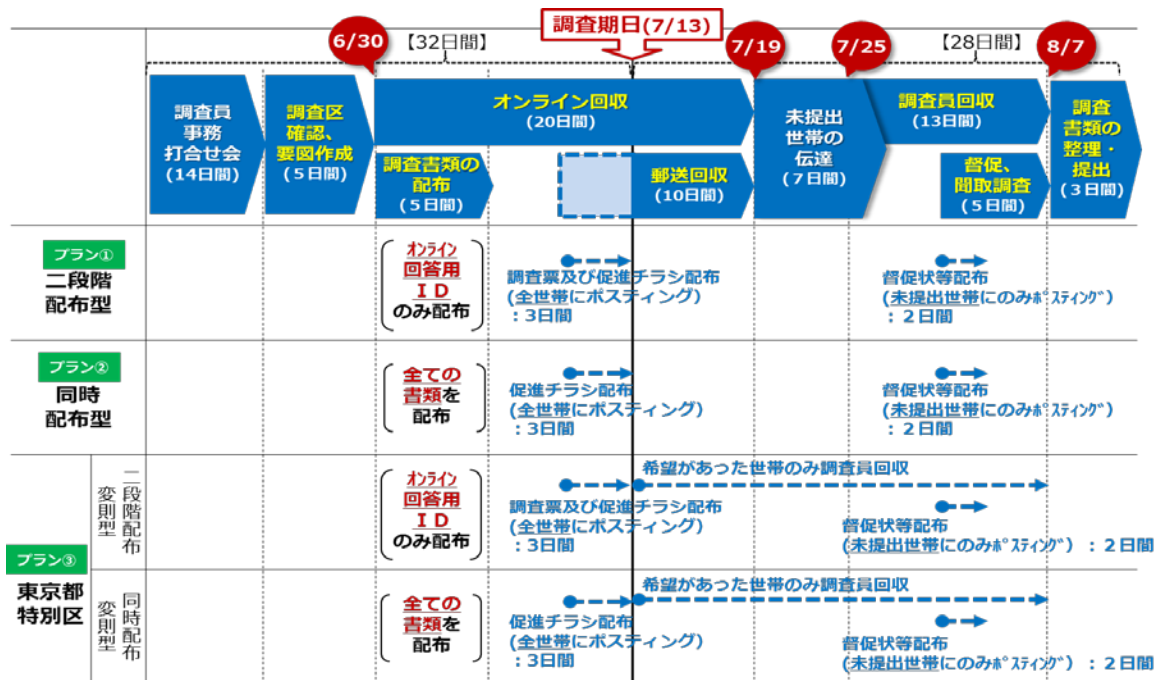
- 調査期日 平成29年7月13日（木）
- 調査対象 8都道府県16市区町 312調査区（1市区町当たりおよそ24調査区）
調査日現在、対象調査区に常住する全ての人・世帯（約15,600世帯）
※調査区の選定に当たっては、後置番号4、8の調査区は除外する。
※後述の調査方法については調査区ごと、調査票については市区町ごとに設定する。

- 調査の流れ



- 調査方法

第1次試験調査においては、次の3とおりの方法により調査を実施する。



二段階配布型においては、調査書類の配布時点でオンライン回答用IDのみ配布し、調査期日の直前に調査票等を配布する。一方、同時配布型においては、調査書類の配布時点でオンライン回答用ID、調査票等を全て配布する。

- 調査票

調査票は、「住宅の床面積の合計」の有無によって甲・乙2種類を用意し記入状況を検証する。
（調査票甲：20項目、調査票乙：19項目）

III 主な検証事項と結果利用

- ◆ 調査方法の検証：「同時配布型」及び「二段階配布型」の調査方法の違いによる世帯の回答状況の分析
 - ◆ 調査事項の検証：調査事項（「教育」、「従業地又は通学地までの移動交通手段」、「住宅の床面積の合計」）の記入状況、世帯アンケート結果を踏まえた調査事項の記入意識に係る分析
- 試験調査の実施状況を踏まえ、「平成32年国勢調査有識者会議」等において調査方法等の検討を行う。

平成32年国勢調査第1次試験調査 実施状況等結果の概要

本資料は、平成32年国勢調査実施計画の立案に向けて、調査環境の変化に対し的確に対応するための調査方法等必要な事項を実地に検証し、実施計画の策定に必要な基礎資料を得ることを目的に、平成29年7月13日を調査期日として実施した「平成32年国勢調査第1次試験調査」の実施状況について、その結果の概要を取りまとめたものである。

I 調査票の集計結果

第1 調査票の回収状況

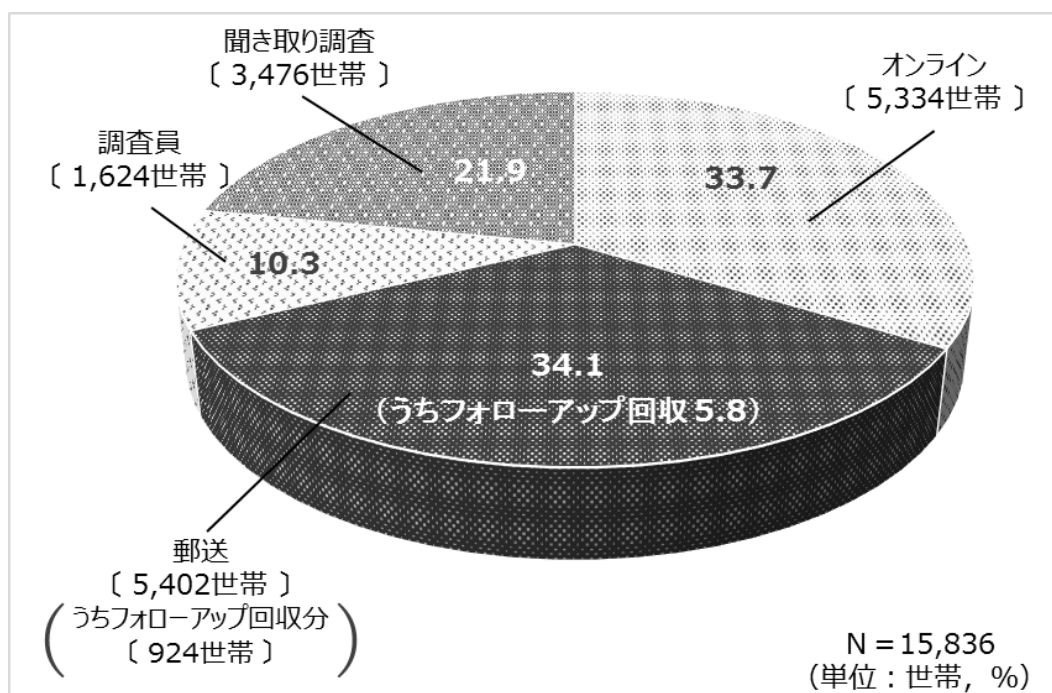
1 全体の回収状況

調査対象世帯は、15,836世帯となっており、これを回収方法別にみると、オンライン回収は5,334世帯（調査対象世帯に占める割合33.7%）、当初回収分とフォローアップ回収分を合わせた郵送回収は5,402世帯（同34.1%）、調査員回収は1,624世帯（同10.3%）、聞き取り世帯は3,476世帯（同21.9%）となっている。

フォローアップ回収についてみると、調査対象世帯に占める割合は5.8%となっており、一定の督促効果が得られている。

《図1》

図1 回収方法別世帯数及び割合



2 調査方法別の回収状況

調査方法別に調査票の回収状況をみると、二段階配布方式においては、オンライン回収が2,956世帯（調査対象世帯に占める割合37.4%）で、最も高くなっている一方、同時配布方式においては、郵送回収が2,985世帯（同37.7%）で、最も高くなっている。

二段階配布方式と同時配布方式を比較すると、オンライン回収の割合は、二段階配布方式の方が7.4ポイント高くなっている。 《表1》

また、調査方法別の重複回答数をみると、二段階配布方式においては、75世帯（同0.9%）で、同時配布方式においては、21世帯（同0.3%）となっている。 《表2》

表1 調査方法、回収方法別世帯数及び割合

（世帯，％）

回収方法		総数					聞き取り調査 1)
調査方法			回答世帯 合計	オンライン	郵送	調査員	
（実数）	総数	15,836	12,360	5,334	5,402	1,624	3,476
	二段階配布方式	7,910	6,183	2,956	2,417	810	1,727
	同時配布方式	7,926	6,177	2,378	2,985	814	1,749
（構成比）	総数	100.0	78.1	33.7	34.1	10.3	21.9
	二段階配布方式	100.0	78.2	37.4	30.6	10.2	21.8
	同時配布方式	100.0	77.9	30.0	37.7	10.3	22.1

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

表2 調査方法、重複回答の有無、回収方法別重複回答世帯数及び割合

（世帯，％）

調査方法		重複回答の有無 回収方法	総数	重複回答 なし	重複回答 あり 1)	重複回答の回収方法		
						郵送	調査員	以外 (オンライン)
(実数)	総数	15,836	15,740	96	73	22	1	
	二段階配布方式	7,910	7,835	75	60	14	1	
	同時配布方式	7,926	7,905	21	13	8		
(構成比)	総数	100.0	99.4	0.6	0.5	0.1	0.0	
	二段階配布方式	100.0	99.1	0.9	0.8	0.2	0.0	
	同時配布方式	100.0	99.7	0.3	0.2	0.1		

1) オンライン回収と郵送回収などの、複数の回答が得られた世帯。なお、聞き取り調査を行った後に郵送回収等によって調査票が得られた世帯は含まない。

3 世帯人員別の回収状況

世帯人員別に調査票の回収状況をみると、世帯から直接回答が得られた割合は、世帯人員が2人以上の世帯で9割以上となっている。一方、単身世帯では、54.0%となっている。

《表3》

表3 世帯人員、回収方法別世帯数及び割合

(世帯, %)

回収方法							
		総数	回答世帯 合計	オンライン	郵送	調査員	聞き取り 調査 1)
世帯人員規模							
(実数)	総数	15,836	12,360	5,334	5,402	1,624	3,476
	単身世帯	6,109	3,301	1,224	1,609	468	2,808
	世帯人員2人	4,181	3,893	1,500	1,899	494	288
	世帯人員3人	2,573	2,386	1,126	975	285	187
	世帯人員4人	1,950	1,820	968	617	235	130
	世帯人員5人以上	1,023	960	516	302	142	63
(構成比)	総数	100.0	78.1	33.7	34.1	10.3	21.9
	単身世帯	100.0	54.0	20.0	26.3	7.7	46.0
	世帯人員2人	100.0	93.1	35.9	45.4	11.8	6.9
	世帯人員3人	100.0	92.7	43.8	37.9	11.1	7.3
	世帯人員4人	100.0	93.3	49.6	31.6	12.1	6.7
	世帯人員5人以上	100.0	93.8	50.4	29.5	13.9	6.2

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

4 世帯主の年齢階級別の回収状況

世帯主の年齢階級別に調査票の回収状況をみると、60歳未満ではオンライン回答した世帯の割合が4割以上を占めている。一方で、60歳以上では、郵送提出している世帯の割合が他の年齢層に比べ高くなっている。

また、20歳代までの聞き取り調査の割合が高く、30歳代以上は、年齢層が上がるにつれて、聞き取り調査の割合が逡減している。

《表4》

表4 世帯主の年齢階級、回収方法別世帯数及び割合

(世帯, %)

回収方法	(実数)						(構成比)					
	総数	回答世帯 合計	オンライン	郵送	調査員	聞き取り 調査 1)	総数	回答世帯 合計	オンライン	郵送	調査員	聞き取り 調査 1)
世帯主の年齢階級												
総数	15,836	12,360	5,334	5,402	1,624	3,476	100.0	78.1	33.7	34.1	10.3	21.9
20歳未満	96	78	41	27	10	18	100.0	81.3	42.7	28.1	10.4	18.8
20歳代	982	714	415	220	79	268	100.0	72.7	42.3	22.4	8.0	27.3
30歳代	1,688	1,468	776	483	209	220	100.0	87.0	46.0	28.6	12.4	13.0
40歳代	2,227	1,996	1,156	631	209	231	100.0	89.6	51.9	28.3	9.4	10.4
50歳代	2,212	2,070	1,130	724	216	142	100.0	93.6	51.1	32.7	9.8	6.4
60歳代	2,680	2,580	1,027	1,257	296	100	100.0	96.3	38.3	46.9	11.0	3.7
70歳代	1,997	1,926	498	1,139	289	71	100.0	96.4	24.9	57.0	14.5	3.6
80歳以上	1,338	1,281	291	728	262	57	100.0	95.7	21.7	54.4	19.6	4.3
年齢「不詳」	2,616	247	-	193	54	2,369	100.0	9.4	-	7.4	2.1	90.6

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

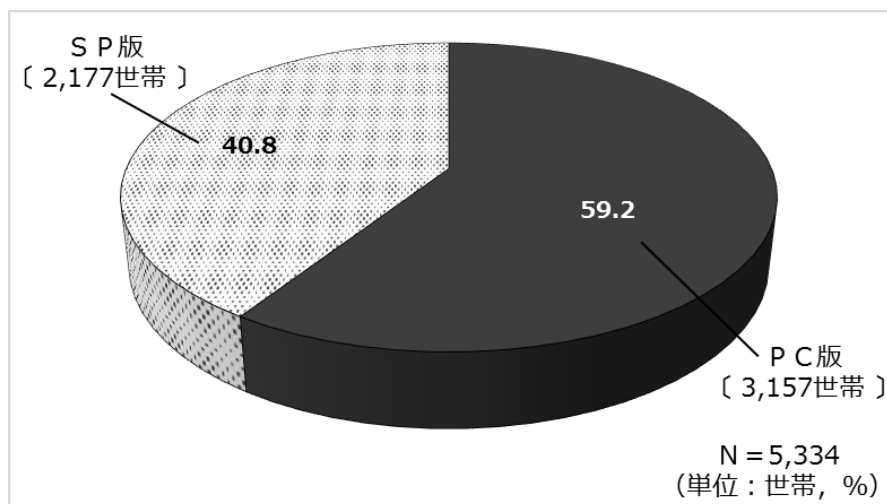
第2 オンライン調査による回答状況

1 電子調査票の種類別回答数

電子調査票の種類別の回答状況を見ると、P C版が3,157件（オンライン回答世帯に占める割合59.2%）、スマートフォン版（以下「S P版」という。）が2,177件（同40.8%）となっている。

《図2》

図2 電子調査票の種類別回答数及び割合



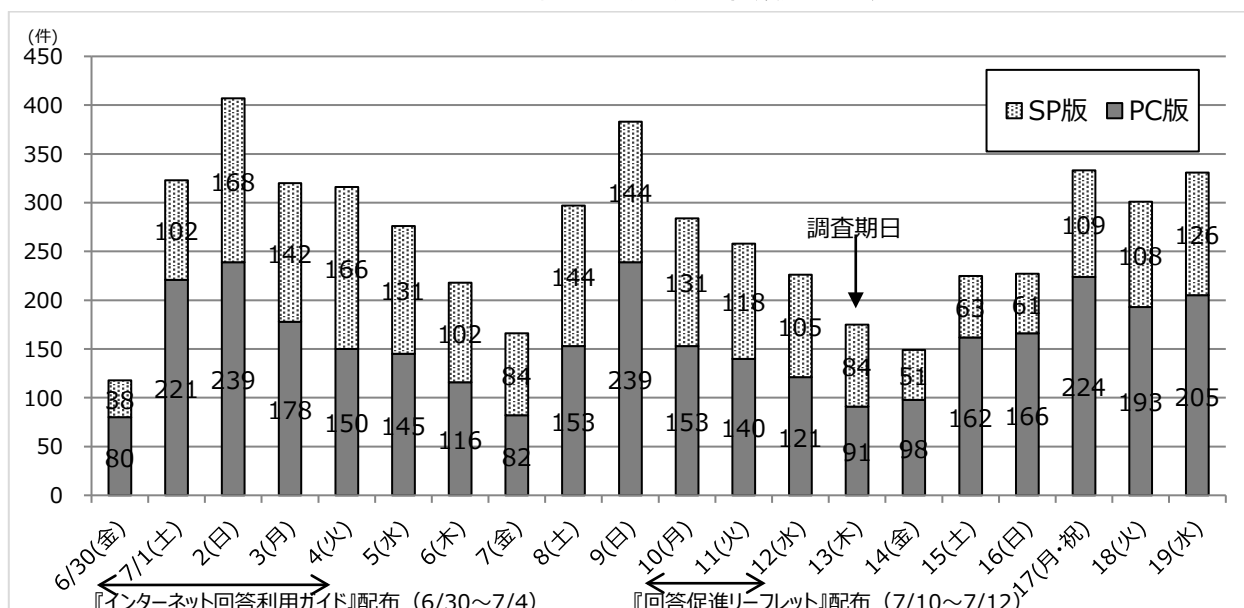
2 日別の回答状況

オンライン回答のあった世帯を日別にみると、回答期間中の初めての日曜日（7月2日）がピークとなっており、それ以降減少傾向にあったが、土日（7月8日～7月9日）に入ると再度回答数が増加している。

また、回答期間終了間際の3連休（7月15日～7月17日）においても、回答数が増加している。

《図3》

図3 回答日、電子調査票の種類別回答数



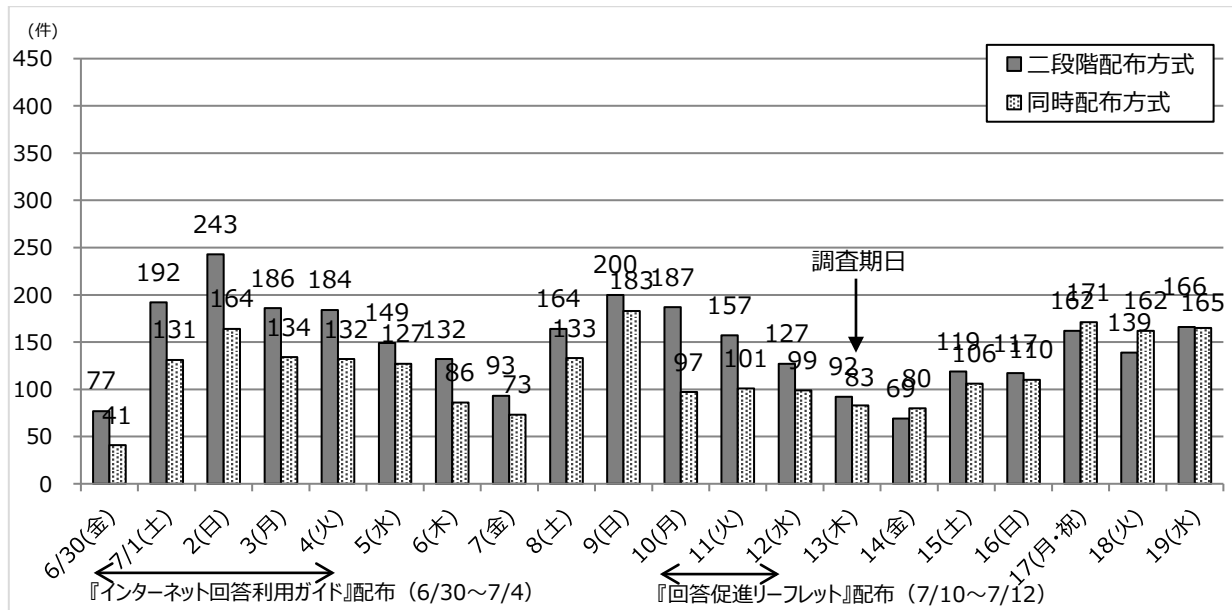
3 調査方法別の回答状況

オンライン回答のあった世帯を調査方法別にみると、二段階配布方式は回答期間開始直後の日曜日（7月2日）がピークとなっており、同時配布方式は回答期間中の2回目の日曜日（7月9日）がピークとなっている。

また、7月10日（月）～7月14日（金）の期間、二段階配布方式の日別の回答世帯数が緩やかに減少しているのに比べ、同時配布方式では7月10日（月）に大幅に減少したのち、低調に推移している。

《図4》

図4 回答日、調査方法別回答数



4 世帯主の年齢階級別の回答状況

オンライン回答のあった5,334世帯を世帯主の年齢階級別にみると、「40歳代」が1,156件（P C版634件，S P版522件）で最も多く、次いで「50歳代」（1,130件（P C版767件，S P版363件））、「60歳代」（1,027件（P C版697件，S P版330件））となっている。

また、これを電子調査票の種類別の割合でみると、S P版は「20歳代」で61.2%、「20歳未満」で61.0%、「30歳代」で55.9%など若年層での割合が高くなっている。

《表5》

表5 世帯主の年齢階級、電子調査票の種類別回答数及び割合

PC・SPの別 世帯主の年齢階級	(実数)			(構成比)		
	総数			総数		
		P C版	S P版		P C版	S P版
総数	5,334	3,157	2,177	100.0	59.2	40.8
20歳未満	41	16	25	100.0	39.0	61.0
20歳代	415	161	254	100.0	38.8	61.2
30歳代	776	342	434	100.0	44.1	55.9
40歳代	1,156	634	522	100.0	54.8	45.2
50歳代	1,130	767	363	100.0	67.9	32.1
60歳代	1,027	697	330	100.0	67.9	32.1
70歳代	498	332	166	100.0	66.7	33.3
80歳以上	291	208	83	100.0	71.5	28.5

第3 調査票の記入状況

1 調査事項別の記入状況

(1) 回収方法別の記入状況

調査事項別に記入状況をみると、「住宅の床面積」において記入不備のある割合が16.4%と最も高くなっており、以下「教育（最終学歴）」が同割合11.6%、「教育（就学の有無）」及び「本人の仕事の内容」がそれぞれ9.8%と続いている。

また、回収方法別の記入状況をみると、調査員回収と郵送回収で、記入不備のある割合に大きな差はみられない。

《表6》

表6 調査事項、回収方法別記入不備のある世帯及び世帯員の割合－郵送回収・調査員回収世帯

(%)

調査事項		回収方法 記入不備の内容	合計			(調査員回収)			(郵送回収)		
			エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入
第1面	世帯人員		1.3	-	-	1.3	-	-	1.3	-	-
	住居の種類		1.3	1.2	0.1	1.7	1.7	0.0	1.1	1.0	0.1
	住宅の床面積	1)	16.4	14.7	1.7	18.4	17.4	1.0	15.7	13.8	1.9
	男女の別		0.6	0.6	0.0	0.8	0.8	0.1	0.5	0.5	0.0
	世帯主との続き柄		1.1	0.8	0.3	1.2	0.9	0.3	1.1	0.8	0.3
	出生の年月（元号・西暦・年月日が規定値か）		2.5	-	-	2.8	-	-	2.4	-	-
	配偶者の有無		3.9	3.8	0.1	4.9	4.7	0.1	3.6	3.6	0.0
	国籍		1.1	1.1	-	1.3	1.3	-	1.1	1.1	-
	外国の場合の国名	2)	1.9	1.9	-	-	-	-	2.6	2.6	-
	現在の住居における居住期間		1.6	1.2	0.4	2.1	1.5	0.6	1.5	1.2	0.3
	5年前の住居の所在地		4.3	4.2	0.2	4.6	4.4	0.1	4.2	4.1	0.2
	他の区・市町村の場合の区・市町村名	2)	0.5	0.5	-	0.6	0.6	-	0.5	0.5	-
第2面	教育（就学の有無）		9.8	9.7	0.0	7.7	7.6	0.1	10.4	10.4	0.0
	教育（最終学歴）		11.6	11.3	0.3	10.0	9.5	0.5	12.2	12.0	0.2
	就業状態		4.6	4.1	0.5	4.6	4.1	0.5	4.7	4.1	0.5
	従業地又は通学地		5.3	5.1	0.2	4.9	4.6	0.2	5.5	5.3	0.2
	他の区・市町村の場合の区・市町村名	2)	2.4	2.4	-	3.2	3.2	-	2.2	2.2	-
	利用交通手段		4.0	1.3	2.6	4.7	1.1	3.6	3.7	1.4	2.3
	従業上の地位		5.7	5.0	0.6	6.2	5.6	0.7	5.5	4.9	0.6
	勤め先・業主などの名称	2)	7.2	7.2	-	8.0	8.0	-	6.9	6.9	-
	事業の内容	2)	9.1	9.1	-	9.5	9.5	-	8.9	8.9	-
	本人の仕事の内容	2)	9.8	9.8	-	11.0	11.0	-	9.4	9.4	-
調査員欄	世帯の種類		0.7	0.6	0.1	0.5	0.5	-	0.8	0.6	0.1
	住宅の建て方		1.3	1.3	0.1	1.1	1.0	0.1	1.4	1.4	0.1
	共同住宅の場合の階数		0.6	0.6	-	0.5	0.5	-	0.6	0.6	-

1) 集計対象は調査票（甲）のみ

2) フリー記入欄における記入の有無

(2) 調査票種類別の記入状況

調査票種類別に各調査事項の記入状況をみると、記入不備のある割合が最も高い事項は、調査票甲は「住宅の床面積」、調査票乙では「教育（最終学歴）」となっている。

また、調査票種類別に記入不備のある割合を比較すると、「教育（就学の有無）」の差が最も大きく、「教育（最終学歴）」が続いているが、いずれも調査票甲より調査票乙の記入不備割合が高い。

《表 7》

表 7 調査事項，調査票種類別記入不備のある世帯及び世帯員の割合－郵送回収・調査員回収世帯
(%)

調査事項		調査票種類 記入不備の内容	(調査票甲)			(調査票乙)		
			エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入
第 1 面	世帯人員		1.3	-	-	1.3	-	-
	住居の種類		1.2	1.1	0.1	1.3	1.2	0.1
	住宅の床面積 1)		16.4	14.7	1.7	-	-	-
	男女の別		0.7	0.6	0.1	0.5	0.5	0.0
	世帯主との続き柄		1.3	1.0	0.3	1.0	0.7	0.3
	出生の年月（元号・西暦・年月日が規定値か）		2.4	-	-	2.5	-	-
	配偶者の有無		3.8	3.7	0.1	4.0	4.0	0.0
	国籍		1.3	1.3	-	1.0	1.0	-
	外国の場合の国名 2)		3.8	3.8	-	-	-	-
	現在の住居における居住期間		1.5	1.1	0.3	1.8	1.4	0.4
	5 年前の住居の所在地		4.9	4.7	0.1	3.8	3.7	0.2
	他の区・市町村の場合の区・市町村名 2)		0.1	0.1	-	0.9	0.9	-
第 2 面	教育（就学の有無）		8.3	8.2	0.1	11.2	11.2	0.0
	教育（最終学歴）		10.7	10.4	0.3	12.6	12.3	0.2
	就業状態		4.0	3.5	0.5	5.3	4.8	0.6
	従業地又は通学地		5.1	4.9	0.2	5.6	5.4	0.2
	他の区・市町村の場合の区・市町村名 2)		2.5	2.5	-	2.4	2.4	-
	利用交通手段		4.2	1.6	2.6	3.7	1.0	2.7
	従業上の地位		5.7	5.2	0.6	5.6	4.9	0.7
	勤め先・業主などの名称 2)		6.5	6.5	-	7.8	7.8	-
	事業の内容 2)		8.6	8.6	-	9.5	9.5	-
	本人の仕事の内容 2)		9.1	9.1	-	10.4	10.4	-
調査員欄	世帯の種類		0.6	0.5	0.1	0.9	0.7	0.2
	住宅の建て方		2.1	2.0	0.1	0.6	0.6	0.1
	共同住宅の場合の階数		0.7	0.7	-	0.5	0.5	-

1) 集計対象は調査票（甲）のみ

2) フリー記入欄における記入の有無

2 記入状況についての評価

- 調査票甲において調査を実施した「住宅の床面積の合計」の記入状況については、他の調査事項に比べ記入不備が多く、結果精度面において問題がある。
- 「教育」については、調査票甲よりも調査票乙の記入不備が多く、調査票甲と調査票乙の記入不備の差は全ての調査事項の中で最も高い。
- 「従業地又は通学地までの利用交通手段」については、調査票甲と調査票乙で、選択肢の記載順を変更したところであるが、マルチ記入の記入不備に大きな差は見られない。

Ⅱ 世帯アンケートの集計結果

1 回答者について

平成 32 年国勢調査第 1 次試験調査の世帯アンケートは、調査対象世帯（15,836 世帯）全てに実施しており、このうち 5,956 世帯から回答（回答率 37.6%）があった。

回答者を男女別にみると、男性が 2,766 人（総数に占める割合 46.4%）、女性が 2,912 人（同 48.9%）となっている。

また、回答者の割合を年齢階級別にみると、「60 歳代」が 22.9%と最も高く、次いで「70 歳以上」（22.7%）、「50 歳代」（17.9%）などとなっており、高い年齢層において高い割合となっている。

《表 8》

表 8 年齢階級、男女別回答者数及び割合

年齢階級	男女	(実数)				(構成比1)				(構成比2)			
		総数	男	女	性別 「不詳」	総数	男	女	性別 「不詳」	総数	男	女	性別 「不詳」
総数		5,956	2,766	2,912	278	100.0	46.4	48.9	4.7	100.0	100.0	100.0	100.0
20歳未満		41	6	35	0	100.0	14.6	85.4	0.0	0.7	0.2	1.2	0.0
20歳代		274	92	182	0	100.0	33.6	66.4	0.0	4.6	3.3	6.3	0.0
30歳代		632	258	374	0	100.0	40.8	59.2	0.0	10.6	9.3	12.8	0.0
40歳代		970	435	531	4	100.0	44.8	54.7	0.4	16.3	15.7	18.2	1.4
50歳代		1,067	505	561	1	100.0	47.3	52.6	0.1	17.9	18.3	19.3	0.4
60歳代		1,362	748	608	6	100.0	54.9	44.6	0.4	22.9	27.0	20.9	2.2
70歳以上		1,353	719	618	16	100.0	53.1	45.7	1.2	22.7	26.0	21.2	5.8
年齢「不詳」		257	3	3	251	100.0	1.2	1.2	97.7	4.3	0.1	0.1	90.3

2 調査への回答方法

調査への回答方法を年齢階級別にみると、「インターネットで回答」と回答した割合は、「20歳代」と「40歳代」が52.6%と最も高くなっている。「紙の調査票に記入して、郵送で提出」と回答した割合は、「70歳以上」で70.0%と最も高くなっている。

《表9》

回答方法を選択した理由を回答方法別にみると、インターネットで回答した世帯において、「簡単・便利と思ったから」が43.1%、「時間帯に関係なく、いつでも回答できるから」が32.9%と、他の回答方法に比べ高い割合となっている。

《表10》

表9 回答方法，年齢階級別回答者数及び割合

		(人, %)								
年齢階級		総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	年齢「不詳」
回答方法										
(実数)	総数	5,956	41	274	632	970	1,067	1,362	1,353	257
	インターネットで回答	2,196	16	144	308	510	527	475	174	42
	紙の調査票に記入して、郵送で提出	3,110	23	109	272	377	457	766	947	159
	紙の調査票に記入して、調査員に提出	551	2	21	46	77	76	98	190	41
	その他 ¹⁾	36	0	0	2	2	1	6	23	2
	回答方法「不詳」	63	0	0	4	4	6	17	19	13
(構成比)	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	インターネットで回答	36.9	39.0	52.6	48.7	52.6	49.4	34.9	12.9	16.3
	紙の調査票に記入して、郵送で提出	52.2	56.1	39.8	43.0	38.9	42.8	56.2	70.0	61.9
	紙の調査票に記入して、調査員に提出	9.3	4.9	7.7	7.3	7.9	7.1	7.2	14.0	16.0
	その他 ¹⁾	0.6	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.4	1.7	0.8
	回答方法「不詳」	1.1	0.0	0.0	0.6	0.4	0.6	1.2	1.4	5.1

1) 「市役所へ直接持参して提出」など。

表10 回答方法を選択した理由，回答方法別回答者の割合

		(%)					
回答方法		総数	インターネットで回答	紙の調査票に記入して、郵送で提出	紙の調査票に記入して、調査員に提出	その他 ¹⁾	回答方法「不詳」
回答方法を選択した理由(複数回答)							
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
簡単・便利と思ったから		30.8	43.1	23.7	20.1	4.0	9.5
時間帯に関係なく、いつでも回答できるから		27.5	32.9	26.0	12.7	0.0	17.6
回答した内容が他者に見られる心配がないから		9.7	7.7	12.1	4.5	2.0	2.7
調査員に勧められたから		6.0	6.7	4.0	16.3	4.0	9.5
紙の調査票よりも先にインターネット回答の書類が届いたから		2.6	6.3	0.1	0.1	0.0	1.4
インターネットで回答できなかったから		12.9	0.1	20.5	24.8	36.0	10.8
インターネットで回答するのが心配(不安)だから		4.7	0.0	8.2	5.5	0.0	5.4
その他		4.4	2.2	4.6	11.3	50.0	1.4
回答方法を選択した理由「不詳」		1.5	1.0	0.7	4.7	4.0	41.9

1) 「市役所へ直接持参して提出」など。

【回答方法を選択した理由の「その他」の具体的記載内容】

- ・ インターネット回答を推奨する記載が調査書類収納封筒などにあるから。
- ・ インターネット回答の回答期限が過ぎてしまったから。

3 調査事項について

(1) 「住宅の床面積の合計」について

「住宅の床面積の合計」の書きやすさについてみると、41.7%が「書きにくい」と回答しており、年齢階級別にみると、「20歳未満」が66.7%と最も高く、次いで「20歳代」(56.3%)、「30歳代」(46.3%)などとなっており、低い年齢層で高い割合となっている。 《表 11》

また、書くにくい理由についてみると、「住宅の床面積がわからない(調べないとわからない)」と回答した割合が67.3%と最も高くなっており、年齢階級別にみると、「40歳代」が77.6%と最も高く、次いで「30歳代」(76.5%)、「20歳未満」と「50歳代」(75.0%)などとなっている。

「住宅の床面積がわからない(調べてもわからない)」という回答は、「20歳未満」(25.0%)、「20歳代」(22.1%)と、低い年齢層で高い割合となっている。 《表 12》

表 11 「住宅の床面積の合計」の書きやすさ、年齢階級別回答者数及び割合

年齢階級		(人, %)								
「住宅の床面積の合計」の書きやすさ		総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	年齢「不詳」
(実数)	総数	3,013	6	135	324	537	591	696	633	91
	書きやすい	763	0	19	61	103	145	222	189	24
	書きにくい	1,255	4	76	150	246	241	254	249	35
	どちらでもない	816	2	37	93	148	180	185	155	16
	書きやすさ「不詳」	179	0	3	20	40	25	35	40	16
(構成比)	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	書きやすい	25.3	0.0	14.1	18.8	19.2	24.5	31.9	29.9	26.4
	書きにくい	41.7	66.7	56.3	46.3	45.8	40.8	36.5	39.3	38.5
	どちらでもない	27.1	33.3	27.4	28.7	27.6	30.5	26.6	24.5	17.6
	書きやすさ「不詳」	5.9	0.0	2.2	6.2	7.4	4.2	5.0	6.3	17.6

※「住宅の床面積の合計」は調査票甲のみの調査事項である。

表 12 「住宅の床面積の合計」の書きにくい理由、年齢階級別回答者の割合

年齢階級		(%)								
「住宅の床面積の合計」の書きにくい理由(複数回答)		総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	年齢「不詳」
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
住宅の床面積がわからない(調べないとわからない)		67.3	75.0	68.6	76.5	77.6	75.0	65.8	48.9	61.0
住宅の床面積がわからない(調べてもわからない)		12.3	25.0	22.1	16.3	13.0	12.1	6.9	11.7	17.1
説明・回答部分の文字が小さい		7.6	0.0	1.2	1.2	1.8	3.7	9.9	19.2	4.9
数字が記入しにくい		7.0	0.0	5.8	3.0	2.9	3.7	9.9	13.2	7.3
その他		5.2	0.0	1.2	3.0	4.3	5.1	7.2	6.0	7.3
書きにくい理由「不詳」		0.5	0.0	1.2	0.0	0.4	0.4	0.3	0.9	2.4

※「住宅の床面積の合計」は調査票甲のみの調査事項である。

【書きにくい理由の「その他」の具体的記載内容】

- ・ 調査事項における質問が長い。
- ・ 調査票の字が小さく赤い字であることから、高齢者にとっては読みにくい。

(2) 「教育」について

○ 「教育」の記入のしやすさについてみると、「記入しにくい」と回答した割合が、調査票甲では 15.5%，調査票乙では 16.3% となっている。

また、年齢階級別にみると、調査票甲では、「70 歳以上」が 19.6% と最も高く、次いで「20 歳未満」(16.7%)、「60 歳代」(16.1%) などとなっている。一方、調査票乙では、「70 歳以上」が 19.4% と最も高く、次いで「50 歳代」(16.2%)、「60 歳代」(15.8%) などとなっており、高い年齢層で高い割合となっている。

《表 13》

表 13 調査票の種類、「教育」の記入のしやすさ、年齢階級別回答者数及び割合

年齢階級			(人, %)								
調査票の種類 「教育」の記入のしやすさ			総数	20歳 未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上	年齢 「不詳」
(実数)	調査票甲	総数	3,013	6	135	324	537	591	696	633	91
		記入しやすい	1,300	3	72	146	220	251	323	260	25
		記入しにくい	468	1	21	28	73	82	112	124	27
		どちらでもない	997	2	39	129	204	227	207	171	18
		記入しやすさ「不詳」	248	0	3	21	40	31	54	78	21
	調査票乙	総数	2,943	35	139	308	433	476	666	720	166
		記入しやすい	1,477	19	82	142	198	244	362	367	63
		記入しにくい	480	3	14	41	61	77	105	140	39
		どちらでもない	777	12	39	112	150	131	146	144	43
		記入しやすさ「不詳」	209	1	4	13	24	24	53	69	21
(構成比)	調査票甲	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		記入しやすい	43.1	50.0	53.3	45.1	41.0	42.5	46.4	41.1	27.5
		記入しにくい	15.5	16.7	15.6	8.6	13.6	13.9	16.1	19.6	29.7
		どちらでもない	33.1	33.3	28.9	39.8	38.0	38.4	29.7	27.0	19.8
		記入しやすさ「不詳」	8.2	0.0	2.2	6.5	7.4	5.2	7.8	12.3	23.1
	調査票乙	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		記入しやすい	50.2	54.3	59.0	46.1	45.7	51.3	54.4	51.0	38.0
		記入しにくい	16.3	8.6	10.1	13.3	14.1	16.2	15.8	19.4	23.5
		どちらでもない	26.4	34.3	28.1	36.4	34.6	27.5	21.9	20.0	25.9
		記入しやすさ「不詳」	7.1	2.9	2.9	4.2	5.5	5.0	8.0	9.6	12.7

○ 「教育」の記入しにくい理由についてみると、「学歴を記入するのに抵抗がある」と回答した割合が、調査票甲では33.0%，調査票乙では24.5%と最も高くなっている。

年齢階級別にみると、回答数が少ない「20歳未満」を除くと、「50歳代」が調査票甲・乙共に「学歴を記入するのに抵抗がある」と回答した割合が最も高くなっている。《表14》

表14 調査票の種類、「教育」の記入しにくい理由、年齢階級別回答者の割合

		(%)								
年齢階級										
調査票の種類 「教育」の記入しにくい理由(複数回答)		総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	年齢「不詳」
調査票甲	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	学歴を記入するのに抵抗がある	33.0	100.0	24.0	31.4	36.8	44.5	34.6	23.4	26.7
	どの学校の種類にあてはまるのかわからない(最終学歴がわからない)	17.7	0.0	28.0	17.1	23.2	14.5	15.7	16.9	20.0
	他の世帯員の学歴を知らない	3.4	0.0	8.0	2.9	7.4	4.5	2.5	0.6	3.3
	学校の区分が細かい	4.8	0.0	4.0	2.9	3.2	4.5	5.7	4.5	10.0
	説明・回答部分の文字が小さい	16.7	0.0	16.0	0.0	3.2	9.1	19.5	33.1	10.0
	マークが記入しにくい	8.2	0.0	8.0	11.4	6.3	7.3	7.5	9.7	10.0
	その他	15.4	0.0	12.0	34.3	20.0	15.5	13.2	11.0	16.7
調査票乙	記入しやすさ「不詳」	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.6	3.3
	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	学歴を記入するのに抵抗がある	24.5	33.3	17.6	24.5	26.5	28.0	27.3	16.6	34.7
	どの学校の種類にあてはまるのかわからない(最終学歴がわからない)	19.0	33.3	29.4	17.0	19.3	25.2	20.7	14.9	12.2
	他の世帯員の学歴を知らない	3.1	0.0	0.0	3.8	4.8	3.7	4.0	2.3	0.0
	学校の区分が細かい	6.4	0.0	11.8	5.7	8.4	5.6	6.0	8.0	0.0
	説明・回答部分の文字が小さい	17.0	0.0	11.8	7.5	9.6	12.1	16.0	28.0	16.3
	マークが記入しにくい	11.5	33.3	17.6	15.1	9.6	6.5	10.0	12.0	20.4
	その他	17.3	0.0	11.8	26.4	21.7	15.9	14.7	17.1	14.3
	記入しやすさ「不詳」	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	1.3	1.1	2.0

【記入しにくい理由の「その他」の具体的記載内容】

- ・ 「専門学校」がどの学校区分に該当するかわからない。
- ・ 調査票の字が小さく、読みづらい。
- ・ 調査票の在学中及び卒業を選択する欄と、学校区分を選択する欄の左右が逆になったほうが見やすい。